

「晴明丘小 いきいき活動 橋の模型づくり」・・・CVV 学童支援活動 開催される！

1. 日 時：2024年12月21日（土）10時00分～12時00分
2. 場 所：大阪市立晴明丘小学校いきいき教室内
3. 参加者：児童13名（1年:5名・2年:7名・4年:1名）、いきいき教室責任者：森元先生ほか1名
4. CVVメンバー：6名(祝、石原、下土居、野坂、黒山、鈴木巖)
5. 開催テーマ：児童一人ひとりがいろいろな橋の学びや模型づくりを通じて、橋の構造や仕組みを学ぶ
 - ①いろいろな橋の紹介、トラス橋の特長など（25分）
 - ②割りばしを使った橋の模型づくりの説明（15分）
 - ③トラス橋の模型づくり作業に挑戦（1時間20分）

6. 活動を通じての感想など：

- ・晴明丘小いきいき教室の森元先生からいきいき活動開始の挨拶があった。
ちなみに晴明丘小学校は全校生徒700名、学童保育350名で2人に1人が学童保育の児童です。
- ・前回と同様TVモニターも正常に稼働したので、色々な橋やトラス橋の特長など丁寧に紹介できた。
- ・今回は参加児童数が13名であったので、CVVとしては落ち着いて橋の紹介や工作指導ができた。
今後とも参加児童数は上限20名をキープして行きたい。
- ・大昔の丸木橋、昔の木橋や石橋、そして現在のトラス橋や吊橋などの話に児童は興味深く聞いていた。
- ・三角形と四角形と横力変形、けた橋とトラス橋の簡易載荷実験では、構造の違い等に興味を示していた。
- ・特に低学年の1、2年生は、割りばしや固定紙へののり付けに苦労しながら頑張っていた。
- ・参加児童の全員は、完成したトラス橋に思い思いにカラフルな色で色付けしていた。
- ・いきいき活動の最後に責任者の森元先生から、「児童の皆さん、みんな一生懸命に頑張りました。」とお褒めの言葉があった。

7. 活動の写真：



森元先生のいきいき教室開始の挨拶があった



トラス橋の特長について紹介



三角形と四角形 横から力を加えるとどうなるかな？
簡易な模型で三角形と四角形との違いを実験



けた橋とトラス橋 どちらが重さに耐えられるかな？
けた橋とトラス橋の載荷実験



児童はさっそく模型づくりに取り掛かった



組立図に合わせて丁寧に割りばしを固定



割りばしの交点に固定紙を取り付けます



トラス橋の模型作業も着々に進んでいる



片側のトラスが完成した



トラスが完成しテープを剥がします



トラス橋が完成し色付けをしている



完成した模型(児童)にはサンタとトナカイのペーパークラフトがプレゼントされた